



60年代前半、ロックシーンの黎明期  
グラマラスなビートを刻んだ伝説のサウンドがよみがえる。

## Orville by Gibson Bass series Thunderbird & EB-3



ギブソン・サンダーバードIVをベースにした独特のサウンドキャラクターは個性派プレイヤーに最適。  
Orville by Gibson  
TB/Thunderbird  
¥115,000  
●Body: マホガニー  
●Neck: マホガニー34"スケール  
●Fingerboard: ローズウッド  
●Pickups: GibsonオリジナルTB (U.S.A.)×2  
●Color: VS (ヴァイネージサンバースト)/EB (エボニー)/AW (アルペンホワイト)

SGベースの名でシーンに数々の足跡を残したトレブリーかつワフルなサウンドが魅力の実力派。  
Orville  
EB-3/SG Bass  
¥96,000  
●Body: マホガニー  
●Neck: マホガニー30 $\frac{1}{2}$ "スケール  
●Fingerboard: ローズウッド  
●Pickups: オービルオリジナル(国産)×2  
●Color: HC (ヘリテージチェリー)



### EB-3 Pickup Selector Operation

EB-3の2つのピックアップは、フロントがシングルで低音のレスポンスが拡大され、リアはハムバックングで高音域が強調されます。それぞれのピックアップは個々にVolとToneのコントロールがあり、ピックアップ・セレクターは4つのポジションで次の様に作動します。●ポジション1…フロントのみ作動 ●ポジション2…リアのみ作動 ●ポジション3…フロント+リア作動 ●ポジション4…フロントのみ作動(※)  
※ポジション4の時のフロント・ピックアップはコンデンサーとチョークコイルを bypass して作動するため、ポジション1の時と異なり、最低周波数レスポンスが弱まってより艶のあるサウンドが得られます。

ギブソンのエレクトリック・ベースの歴史は1953年に発表されたバイオリン・シェイプのベースにはじまりました。しかしそのサクセストーリーは1959年に発表されたEB-0からスタートします。EB-0はレスポール・ジュニアに似たダブルカットウェイのスタイルでショートスケールのモデルでしたがその後ボディシェイプはSGシェイプに改められ1961年、2ピックアップ・モデルのEB-3が発表されました。このEB-3こそロックの流れを変えた伝説のバンドの出現とともに脚光を浴びたモデル。オービルが自信をもってラインに加えたのは、様々なマイナーチェンジがあったEB-3の中でも最も完成度が高かった63年バージョンをベースに、全体のバランスを考慮したスモールヘッド、細く薄いネック、そしてスムーズなジョイントシステムを採用した最新のニーズに応えたものです。